

# 「環境整備」で心を育み、 「地域活動」で感謝を伝える



## おもてなし経営のポイント

- ❖ 「一隅を照らす」考え方で、物ではなく、心の豊かさを追求
- ❖ 心を高め、気付き力を育む「環境整備」
- ❖ 営業活動とボランティアの垣根を超えた「地域活動」

### 経営理念と企業文化

#### 一隅を照らす 心の豊かさを追求するために

「一隅を照らす」。天台宗の開祖、最澄が著した『山家学生式』に記されている言葉だ。「一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく」という意味を持つ。この言葉こそ、大里綜合管理株式会社が掲げる経営理念である。同社は千葉県南東部の大網白里市で、不動産管理業務を主に行なっている。不在地主の土地を巡回、掃除して管理し、地主に状況を報告するである。そのほか、賃貸仲

介やリフォームなども手掛けている。代表取締役の野老真理子氏は2代目。1994年に経営を継いだ際、覆しかつた4つのマイナスイメージがあったという。1つ目は不動産会社そのもの、2つ目は女性の経営者であること、3つ目は地方企業であること、4つ目は中小企業であることだ。不動産会社だからといって、だまして利益を上げているわけではない。性別など関係なく、経営者として健気に事業運営をしている。地方でも、小さい企業でも、存在感を持って活動している。世間一般の評価と別の軸で、真の幸せを追求する。そのような思いからつくられた経営理念が「一隅を照らす」だったのである。



社屋を利用した学童保育も行なっている。「子どもが内面から成長する場」として、調理実習や農業を体験しながら多くの気付きを提供している。

### 社員の意欲・能力向上

#### 本業につながる地域活動は 年間 250 にも及ぶ

同社は、パートも含めた 25 人の社員で、年間 250 種類にもわたる地域活動を行なうことで注目されている。小学生のための交通整理、事務所を使用した学童保育やピアノコンサート、マイクロバスで向かう被災者支援など、社員、顧客、地域を巻き込んだ活動は多岐にわたり、多くのメディアに取り上げられている。

地域の役に立つことは必ず事業活動に返ってくるという考えから、同社では「地域貢献」ではなく「地域活動」と呼んでいる。実際、地域活動で培ったコミュニティから引き受けた仕事は 8,000 件に上るそうだ。

こういった活動は、社員の意欲にもよい影響を与えている。社員はいくつかの地域活動の責任者を兼務しており、業務時間内に本業と並行して取り組んでいる。250 もの地域活動を行なう一方で、社員に対しての業績目標管理も甘くはなく、パートであっても月 20 件の新規開拓目標が課せられている。しかし、「大網クリーンロード」という活動の責任者を兼ねる



「山武トイレ掃除に学ぶ会」では、目に映った汚れているものや乱れているものを、自らの手できれいにする大切さを伝える。



NPO ミュージックカフェ。社屋を利用して他団体を招いてのイベントも多数開催される。



毎月7日に開催している「クリーンロード」。大網の企業や団体、市民が参加する街のゴミ拾い風景だ。

女性社員は、「地域に貢献するために頑張ることが、やりがいにつながっている」として、二つを両立させている。

本業と地域活動を線引きをしない理由、それは、「地域活動が、その人その人の人生であり、生活であり、仕事である。ワークとライフのバランスというよりも、地域活動はワークでありライフでもある」という考え方からきている。この考え方が、顧客や地域に感謝し、役立とうとする礎となっている。

### 地域・社会との関わり

#### 気付き力を育む環境整備 未来と周りへの配慮

朝は朝礼から始まる。ラジオ体操を行ない、理念の唱和も欠かさない。朝礼後は掃除だ。同社では、掃除を「環境整備」と呼び、社員教育につな

げている。スイッチが入った状態で行なう掃除は活力に満ちていた。ちなみに、トイレ掃除は素手で行なう。「汚れている箇所がきちんと分かる。問題の本質に近づくという意味がある」と社員は話し、習慣化されていることが感じられる。退社前にも掃除し、合計すると1日2時間近くを環境整備に使う。また、業務時間外でも長時間の掃除を行なうが、採用の段階から告知することで、共感できる人だけが入社する仕組みになっている。そのため、社員から掃除に対する不満はなく、むしろ目的を理解することで、生き生きと掃除ができていく。環境整備の際に心掛けることは、「未来と周りを配慮しているか」である。この心掛けは、雑巾絞りにも表れていた。何度も絞るようなことがないように(水を無駄遣いしないことによる未来への配慮)、水が飛び散らないように絞る(周りへの配慮)。些細に思える動作の一つ一つに意味

を持たせることが、洗練された心の醸成につながるとする。

「環境整備」は、社員の中に合言葉として浸透しており、パート社員も例外ではない。「考えながら掃除をすることによって、要領よく取り組む方法を考えるようになった。また、掃除以外のことでも気付きが増えた」と一人のパート社員は目を輝かせながら話していた。

社員は、地域活動や環境整備をしたからといって額面上の給料が多く上がるわけでないことを野老氏から伝えられている。それでも、地域の役に立ち、環境をきれいにしながら働くことを楽しんでいるようだ。「自社の田んぼでつくった米を家族に振る舞ったり、自社でつくったそばで年を越したりすることに幸せを感じる」と社員は言う。数字では経費としか記載されない地域活動には、心の利益が大きく計上されているのである。

### 会社概要

- ・法人名：大里綜合管理株式会社
- ・代表者：野老 真理子 代表取締役
- ・所在地：千葉県大網白里市みやこ野 2-3-1
- ・設立年月：1975年7月設立

- ・事業内容：不動産管理業務、賃貸仲介業務、住宅建築・リフォーム、土木工事 等
- ・社員数：正規22名、パート・アルバイトなど3名
- ・ホームページ：<http://www.ohsato.co.jp/>